

平成 28 年度^{ユ-ゴ}U-go グラント（旧：異分野融合研究応援プログラム）審査総評

この度、U-go グラント（旧：異分野融合研究応援プログラム）審査委員会は、平成 28 年度 U-go グラントについて、申請のあった 30 件の研究課題に関して厳正な審査を行い、10 件を選定することとしました。

本グラントの採択研究課題を研究代表者の所属別で見ると、人文社会・教育科学系 2 件、自然科学系 4 件、医歯学系（医歯学総合病院含む）3 件、研究所・センター等 1 件となっています。

審査にあたっては、別途定めた審査要項に従い、総合的な評価とともに、特に「異分野融合研究としての妥当性」を重視しました。今回応募課題の中には、「2 つ以上の学問分野の 2 名以上の本学の研究者によるチームで行うもの」という公募要件が満たされていないもの、学問分野を超えてはいるものの、異分野融合研究とは判断しがたい研究体制、研究手法のものが少なからずありました。

選定した 10 課題は、萌芽段階のものから一定の段階まで研究が進んでいるものまで様々ですが、「異分野融合研究としての妥当性」において、相対的に評価の高い課題でした。

研究分野の進展にはチャレンジ性が必要です。すべての研究分野の進展に異分野融合の取り組みが必要という訳ではありませんが、研究のタコツボ化が進みすぎた現在、その打破には異分野融合が有効と考えます。

初回公募に 30 件もの申請が寄せられたことは、本学研究者の異分野融合研究に対する積極的な姿勢が示されたものと言えます。今回選定された課題については、将来の発展を目指して、異分野融合という共同研究を進展させていただきたいと考えています。予算に限りがあり、残念ながら選定されなかった課題についても、是非その高いポテンシャルを進展させてください。

本グラントが契機となり、本学の幅広い分野の基礎・応用研究力がより強化され、研究交流が活発になることを願っています。

平成 28 年 11 月 4 日

U-go グラント審査委員会
委員長 宮田 等